

# あおぎり

平成25年11月21日

## 音楽会終わる!

11月1日(金) 校内音楽会が行われました。この日を目標に音楽の時間や朝夕の時間に、学習や練習を重ねてきました。どの学級、どの学年も、自信持って真剣に演奏し、聴いている人を感動させてくれました。今までの成果を発表できたすばらしい音楽会でした。



来賓の皆様、保護者の皆様には、子どもたちが歌う環境を整えていただき、子どもたちの演奏を聴いていただきまして、ありがとうございました。また、6年生は、8日(金)の須坂市卒業学年親善音楽会へ参加し、市内の6年生の

前で、みんなの心を一つにしてすばらしい歌声を発表することができました。

今後も毎日の学校生活の中で歌声を大切に、歌い続けてほしいと思います。

### PTA コーラス、音楽祭へ参加

11月9日(土)午後、「PTA 音楽祭」がメセナホールで行われました。学級会長会が中心となり、9月より週1回の練習を重ねてきました。混声三部合唱で、「少年時代」と「いのちの歌」を歌いました。心のこもったハーモニーを奏でることができました。他校の方より「とてもきれいなハーモニーでした」「聴き手に願いが伝わる歌でした」など、評価をいただきました。また、参加いただいた皆様には音楽会の最初から最後まで聴いていただきました。この点も森上小学校 PTA の素晴らしいさでした。PTA コーラスの皆様、ありがとうございました。

## 11月20日の校長講話(しあわせ旬間に合わせて)

昨年、次のような話をしました。思い出してください。私たちの心には、「やさしい心」のほかに、「いじわるな心」があるように思います。

優しい心が大きいとお友達にやさしくできます。

反対に、いじわるな心が大きいとお友達にいじわるをしてしまいます。

優しい心を大きくして、いじわるな心を小さくしていくには、人とかかわる、自然とかかわる、自分のことを振り返る、自分に自信を持つことが、大事であることを話しました。2年生以上の方は実行してくれていることと思います。

今日は、「差別」について考えてみたいと思います。

「差別」という言葉の意味は、「差をつけて取り扱うこと、分け隔てること」です。

皆さんは、人と違うからといって、力が弱いからといって、差別したことはありませんか。差別はいじめにつながります。いじめは、人の心を傷つけると共に、自分の心も傷つけてしまいます。差別やいじめは、人として絶対にしてはいけないこ

とです。

皆さん、「差別」の反対の言葉を知っていますか。

差別の反対の言葉は、「尊敬」です。「尊敬」の言葉の意味は、「他人の人格・行為などを尊び敬うこと」です。つまり、「人を大切にすること」です。

「尊敬している人は誰ですか」と尋ねられた時、皆さんは、誰と答えますか。少し考えてみてください。

「お父さんやお母さんを尊敬しています」と答える人がいると思います。これは、「お父さんやお母さんをととても大切に思っている」ということです。「担任の先生を尊敬しています」と答えた人は、「先生を大切に思っている」ということです。「友達の　　さんを尊敬しています」と答えた人は、「　　さんをととても大切に思っている」ということです。

校長先生が尊敬している人は、森上小学校の先生方です。先生方一人一人が、森上小学校のみんなのことを思い、みんなが楽しく学校生活ができるように毎日頑張っているからです。

人は一人では生きていけません。たくさんの人に支えられ、生かされているのです。周りの人と仲良く楽しく生活していくには、相手の人を大切に思う思いを行動として表すことです。それには、尊敬される人になるよう努力することです。尊敬される人とは、仕事をがんばっている人、家族を大切にしている人、学習をがんばっている人、お掃除をがんばっている人、運動をがんばっている人、人にやさしくしている人、このほかにも、いろいろなことでがんばっている人です。

「尊敬すること」つまり「人を大切に思う心」を大事にして生活をし、みんなが仲良しの森上小学校にしていきたいと思います。

## 森上祭り行われる

19日(火)に、森上祭りが行われました。朝、全校が集まって、　×クイズを行い、3・4校時には「チャレラン」と言って、4・5・6年生が用意した12の種目(さいころ1出し、鉛筆立て、豆つまみ皿うつし、かさバランス、1分間空き缶釣り、洗面器お手玉投げ　等々)に挑戦しました。

1・2・3年生は友達と仲よく回り、挑戦しました。4・5・6年生は、種目を担当したり挑戦したりしました。全校児童みんなが楽しむことができました。1年に1回の森上祭りは大成功でした。



## 校章「青桐」の由来

校章「青桐」ができたのは、今から49年前(創立20周年)です。

森上小学校の学級名「智・仁・勇・敬・愛」の由来の中で、孟子(もうし)の教え「四端(したん)」について述べましたが、この「四端」の教えを伝えたと言われているのが「鳳凰(ほうおう)」という鳥です。鳳凰の止まり木にしたのが「青桐」の木なのです。「青桐」は、真っすぐにすくすくと育ちます。

森上小学校の子どもたちが、青桐のようにすくすくと真っすぐに育って欲しいとの願いを込めて、青桐を森上小学校のシンボルとしました。

青桐児童会や児童会の歌も、ここからきています。